

生徒数329名

	男子	女子	合計
1学年	39	61	100
2学年	73	47	120
3学年	61	48	109



校訓「自主」「練磨」「創造」

（篠栗北中HP（Facebook））を公開中!!

<感謝と共生のある学校に向けて>

北中重点目標 『心の挨拶』

○5月31日(火) 3年生高校体験訪問を実施

5月31日(火) 3年生が高校体験訪問を実施しました。5つ(東福岡・精華女子・九州・城東・立花)の高校から一つ選び、1日の体験でした。



話を聞いた子どもたちから、「楽しかった」「行きたくなった」など、進路選択の情報収集ができたという声を聞きました。



これから、各高校の体験入学の案内があると思います。ネットで調べることができですが、自ら足を運び、五感を通じて学ぶ方が、情報収集として大切です。

○6月3日(金)

「ちょっとした気づき」に感謝

6月3日(金) 美術部員の皆さんが、以前、描いてくれた障がい者用駐車マークを修復していました。ささ丸・きた丸の名前も入りました。



このような「ちょっとした気づき」に感謝します。

○6月9日(木)・10日(金)

1学期定期考査を実施

6月9日(木)・10日(金) 1学期定期考査を実施しました。



1年生は、初めての定期考査でしたが、どの生徒も諦めず問題に向かっていました。

結果の点数よりも、その点数になった振り返りをして、勉強の仕方の改善につなげてください。



○6月10日(金)

部活動・社会体育激励会を実施

6月10日(金) 部活動・社会体育激励会を実施しました。各部長から大会への熱い思いが伝えられ、生徒会長からもエールが送られました。

コロナ感染対応で様々な制限がありますが、部活動・社会体育の皆さんの活躍を応援しています。

「心の挨拶」を忘れず、大いに楽しんできてください。

中体連・コンクールの初戦日程

部活動	月日	開始時間(予定)	会場
陸上競技	6月15日(個人)	9時25分	博多の森陸上競技場
野球	6月18日	14時30分	若杉の森野球場
サッカー	6月18日	11時15分	新宮ふれあいの丘
男子テニス	6月18日(団体) 6月25日(個人)	8時30分	粕屋東中学校
女子テニス	6月18日(団体) 6月25日(個人)	10時	(団)カプトの森 (個)林崎テニスコート
男子バスケ	6月18日	11時	志免中学校
女子バスケ	6月18日	9時	古賀中学校
女子バレー	6月18日	10時30分	篠栗北中学校
男子卓球	6月25日(個人) 7月2日(団体)	9時	(個)須恵町立卓球場 (団)粕屋ドーム
女子卓球	6月25日(個人) 7月2日(団体)	10時	(個)古賀市民体育館 (団)粕屋ドーム
吹奏楽	7月24・25日		福岡サンパレス
美術			
水泳	7月6日	10時	福岡県立総合プール
空手	6月18日	9時	福岡市総合体育館 (福岡市東区・照葉)

○6月13日(月)

CS篠栗北学園 第一回運営協議会を実施

6月13日(月) CS篠栗北学園 第一回運営協議会を実施しました。

小・中学校が、今年度の学校運営計画について説明し、承認されました。今後の協議会について、助言もいただきました。



第一回篠栗北学園学校運営協議会の報告

学校運営協議会とは？・・・コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の5）に基づいた仕組みです。



第一回運営協議会では、北勢門小学校と篠栗北中学校の校長が、本年度の学校経営について説明しました。その中で、両校の教育課題を共有しました。

北勢門小学校の教育課題	篠栗北中学校の教育課題
○ 基礎・基本の定着による学力の向上	○ 学力・体力の向上
○ 自尊感情の向上と豊かな心の育成	○ 新たな不登校生徒の減少
○ 不登校児童や不登校兆候児童の減少	○ リテラシー（知識とその活用力）の向上

篠栗北学園 学校運営協議会委員のメンバー

北勢門校区地域づくり協議会会長	野見山宏孝
校区内民生委員	井上 輝男
地域学校協働活動推進員	堀 雅仁
区長会代表	阿部 正明
見守り隊部会	水江 靖弘
学びあい部会	玉置 正和
おやじの会会長	前田 和則
みずすましの会会長	田原 徳三
北勢門小学校 PTA 会長	中村 泉
篠栗北中学校 PTA 会長	栗本 敦史
福岡教育大学大学院教授	森 保之
社会教育委員	青木美貴子
教育委員会指導主事	下川 公子
北勢門幼稚園主任	台信 麻実
北勢門小学校校長	永江 慶子
篠栗北中学校校長	松本 修
北勢門小学校教頭	大谷 武文
篠栗北中学校教頭	伊丹 晶子
北勢門小学校主幹教諭	小田部岳史
篠栗北中学校主幹教諭	井本 泰子

福岡教育大学大学院 森 保之 教授から、次の内容をご指導をいただきましたので紹介します。

☆ 学校運営協議会とは、学校だけが取組の説明をしても成立しません。地域の取組、家庭の取組も互いに知り、子供の健やかな育ちのために何ができるのか、意見を出し合うのが大切です。終わって元気になるのが学校運営協議会です。

☆ 小学校も中学校も不登校に関する教育課題があります。不登校は、学校だけでは解決できません。課題を共通理解して、学校・地域・家庭ができることを熟議しましょう。

☆ 学校運営協議会委員に体育発表会や文化発表会、授業などを参観していただくのは、学校の取組ができているか具体的な姿をモニターする「リアル評価」の場です。見ていただいて、学校が元気になる評価をください。

学校運営協議会の委員の皆様には、10月の文化発表会を参観いただく予定です。日々の取組が教育課題の改善につながっているか、生徒の姿で見ていただくこととなります。学校・家庭・地域一体となって生徒を育てていきたいと思っております。